



中村文武（ふみたけ） 通信

皆様初めまして。北河田町在住中村文武と申します。愛西市に住んで約 10 年が経ちました。昨年末に県職員を退職し、地域のために生きることを決意いたしました。地域と市の橋渡しになれるよう精進してまいります。まずは、お話をさせていただき人となりを知っていただければと思います。

後援会長ご挨拶

若い力で愛西市の発展を！！

中村ふみたけ後援会 会長 八木 一

私は、これまで PTA 会長、交通安全の会、市議として様々な活動を地域のためにしてまいりました。昨季引退させていただいてからも、交通安全等の活動を継続してまいりました。昨年末、藤浪コミュニティでのいきいきウォークに交通安全ボランティアとして参加させていただいた折、彼が消防団として活動されている時に、「一つ腹を括ってみないか」と声をかけたところ、翌日には返事が返ってまいりました。

年齢も 40 代と若く、今後 30 年は確実に地域のために貢献してくれる方です。

行政経験もあり、即戦力ではないかと思えます。

彼は、消防団にもすぐ加入してくれ、昨年末の火災の際には早朝まで見守りしていただきました。また、子どもたちのための新しい試みのスポーツクラブも立ち上げ 2 年間活動されてきました。愛西市の皆様におかれましては、彼の人となりを知っていただき、是非政治活動のご支援ご協力を賜れたら幸いです。

地域のために！！

中村ふみたけ

私は、一志郡三雲村という人口 1 万人もいない村に生まれました。父は公務員、母は主婦でした。祖父が病気がちのため、父が高卒で働き、祖母がたばこ屋で生計を立てておりました。小学生の頃は、店番をするのが自分の役割で、駄菓子やの仕入れも行い、その差額をお小遣いにしておりました。うまい棒 1 本売って 2 円です。母は内職でカーテンを縫って、そのカン刺しを 1 本 5 円で手伝っておりました。そんな中で、地域のおじさんたちが店の縁台に集まっていろんな話をするという日常で育ってきました。今、そんな日常が遠のいているように思います。地域の日頃の交流があってこそ、子どもも育ちますし、助け合いの精神が自ずと培われます。ちょっとうるさいけど、地域のお節介おじさんになりたい。そういう想いです。



んでした。一方で学級委員とか児童会とかは取り組む子でした。

中学生の時にマザーテレサの本を読み、自分自身の想いとして初めて誰かの役に立つことこそ生きる意味だという意識が芽生えました。

基礎はこの頃に出来たとは思いますが、現実的に考え始めたのは、県職員となった後でした。

大学の時に母が町会議員に立候補もしていました。

また、県職員時代に私が、なんぼいっても聞いてくれない上司が、とある市議から言われたら、「良しやろう！調べて、地域活動の補助金を申請してくれ」というじゃありませんか。不思議でした。。

母からは、「誰も見ていない先を考え、仕組みを作るのが政治」「法律を作ったのは人間、変えるのも人間、変えれないと思ったら大間違い」という事を常日頃聞かされてまいりました。

そんな想いを胸に抱きながら、公務員生活を送っておりました。従って、言われた以上のことをやる職員でしたので疎まれたこともあります。

具体的に近年は、薬局等でのコロナの無料検査の導入、県営のワクチン接種会場の運営等で+アルファの取り組みや国体・障がい者大会準備に邁進してきました。

それまでは、企業誘致では知事と海外に同行したり、県内企業に工場増設の補助金を出したり、土木事務所では、河川内の木をチェーンソーで自ら一人で切り始めて、最終的には地域や関係団体も巻き込み 100 人規模の活動を作り出し、知事や国交省から表彰されたこともあります。

「このままではいかん、まだやることがある！！」そういう想いを約 3 年腹に持ち生きてまいりました。いよいよ大海原に船出です！！ご支援ご協力をお願いします！！！！



中村ふみたけ後援会
〒496-8008 北河田町郷前381-1
TEL: 080-4302-2976

E-MAIL aisaiwoyokusuru@gmail.com

